

伊丹市議会
議会報告会

実施報告書

平成29年5月20日・21日開催

目 次

1 開催概要.....	1
2 一般会計予算審議報告.....	2
3 特別会計並びに企業会計予算審議報告.....	9
4 参加者からの質問と回答.....	15
5 アンケート集計結果.....	16
6 報告会の検証.....	20

1 開催概要

(1) 開催日時、会場及び参加者数

日 時	平成29年5月20日（土）	平成29年5月21日（日）
会 場	ラスタホール2階多目的ホール	ことば蔵地下1階多目的室1
開 催 時 間	午後6時～7時30分	午後2時～午後3時30分
参 加 者 数	11人	13人

※ことば蔵では要約筆記、手話通訳、託児を実施

(2) 出席議員

ラスタホール	小寺秀和、服部好廣、高塚伴子、林 実、大津留求、山薦有理、保田憲司、西村政明、川井田清香、山本恭子、北原速男、櫻井 周、川上八郎、戸田龍起、加柴優美、加藤光博、山内寛
ことば蔵	里見孝枝、高塚伴子、保田憲司、西村政明、竹村和人、篠原光宏、川井田清香、佐藤良憲、北原速男、相崎佐和子、泊 照彦、杉 一、久村真知子、上原秀樹、加藤光博、吉井健二、新内竜一郎

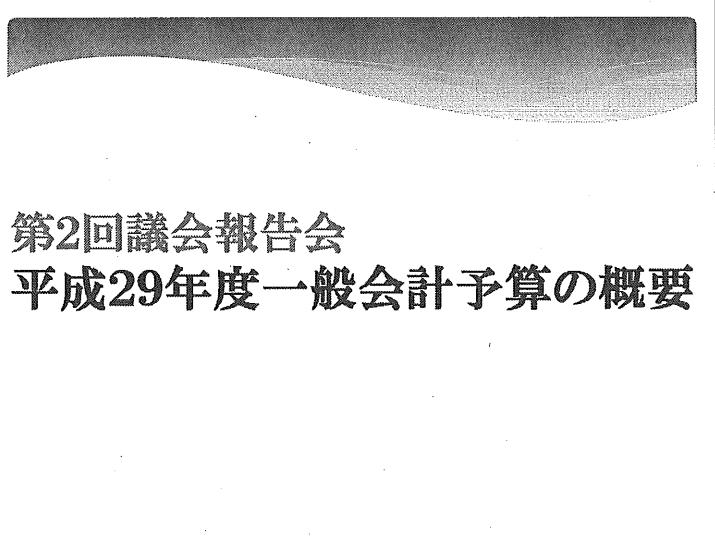
(3) 役割分担

	ラスタホール	ことば蔵
班 長	加柴優美	新内竜一郎
司 会	山内 寛	泊 照彦
報 告 者	(一般) 加藤光博 (特会) 西村政明	(一般) 加藤光博 (特会) 西村政明
記 録 作 成	小寺秀和、服部好廣	佐藤良憲、上原秀樹
写 真	櫻井 周	杉 一
受 付	山本恭子、川上八郎	竹村和人、吉井健二
誘 導	林 実、山薦有理	里見孝枝、保田憲司、相崎佐和子
会場係・のぼり	大津留求、戸田龍起	高塚伴子、久村真知子
運 営 全 般	川井田清香	川井田清香
託児・要約筆記		(託児) 高塚伴子 (要約) 篠原光宏

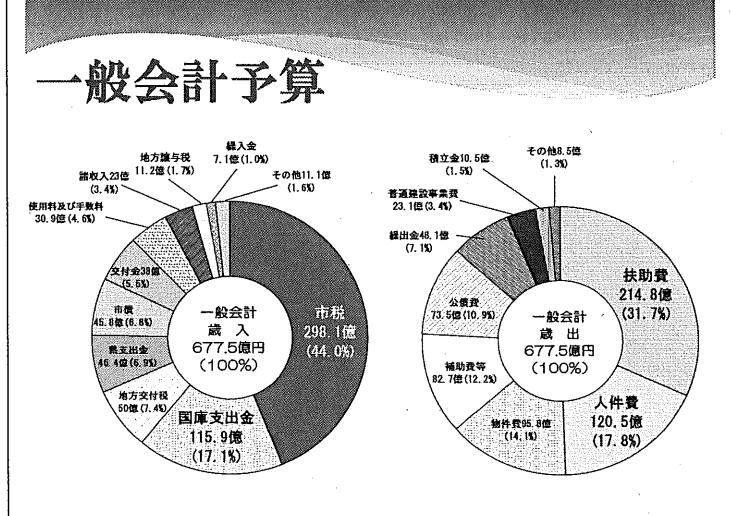
(4) 報告会次第

開 会	・開会・議長あいさつ・議員紹介と報告会の進行説明
議会からの報告	・平成29年度予算委員会報告
休憩（議会紹介DVDの上映）	
質疑・意見交換	・参加者からの質問への回答他
閉 会	・副議長あいさつ

2. 一般会計予算審議報告



それでは、去る2月20日より3月24日にかけ開会されました平成29年第1回市議会定例会おきまして可決いたしました平成29年度一般会計予算の概要について、ご説明させていただきます。



平成29年度一般会計予算は、4月16日に市長選挙が予定されていたことから、政策的な判断をする新規事業を極力抑制して、これまで継続的に実施してきた事業や市民生活に密着した停滞させることのできない事業などを中心とした骨格的な予算となっております。そのため、一般会計予算の総額は、昨年度に比べて15億5千万円減少し、677億5千万円となっております。

しかしながら、国の経済対策に基づく有利な財源を活用して、平成28年度12月の補正予算に平成29年度実施予定事業の予算34億3千万円を前倒して計上されたことから、平成29年度の実質的な予算額は、711億8千万円となり、3年連続で700億円を超える規模となっております。

歳入の主なものを申し上げますと、まず、市民の皆様に納めていただきました市民税や固定資産税などの市税が298億1千万円で全体の約44パーセントで、次に、国からの支出金が115億9千万円で全体の約17パーセント、その他、地方交付税や県からの支出金などが計上されております。

一方、歳出の主なものを申し上げますと、まず、児童や高齢者、障がい者、生活困窮者等への支援に要する経費、いわゆる扶助費が214億8千万円で全体の約32パーセントであり、扶助費は17年連続で増加しており、額、割合ともに過去最高となっております。次に、人件費が120億5千万円で全体の約18パーセントで、その他、公債費や普通建設事業費などが計上されております。

また、政策的な判断をする平成29年度新規実施事業の予算については、6月の定例会において、当局より提案される予定であり、そのための財源としては、予備費を通常より1億円上乗せして計上しております。

市の将来像
みんなの夢 まちの魅力 ともにつくる 伊丹

主な事業

- ①まちなかミマモルメ利用促進事業
- ②機械式地下自転車駐車場の整備
- ③民間活力等による保育所整備事業

こうして編成された一般会計予算により、平成29年度は、昨年度に引き続きまして伊丹創生総合戦略に位置づけられた事業を中心として、市の将来像「みんなの夢 まちの魅力 ともにつくる伊丹」を目指し、小学生など見守り対象者の位置情報を保護者等へ知らせる「まちなかミマモルメ」の利用促進事業の実施や、JR伊丹駅周辺の放置自転車解消を図るための機械式地下自転車駐車場整備、また、今年4月1日時点での保育所待機児童ゼロは実現しましたが、引き続き、年度途中においても待機児童の解消を図るために、民間活力等による保育所整備事業の推進など、様々な施策や事業が推進されるところです。

それでは、一般会計予算等審査特別委員会で議論が交わされた様々な事業の中から、数点を取り上げ、ご報告させていただきます。

なお、これから述べることは、あくまでこの3月の一般会計予算等審査特別委員会で交わされた質疑答弁の報告であります。市民のみなさまからは、予算計上されていない事業についても様々なご要望を頂いておりますが、予算委員会は、それらのことを自由に発言できる場ではなく、市長から提案された予算案について質疑する場でありますので、そのあたりを誤解なきようお願ひいたします。

地域総括交付金 ちいきそうかつうふきん

本年度予算 3,400千円
(財源内訳:一般財源3,350千円、国50千円)

事業の目的

担い手不足、依頼事務の増大、担い手の高齢化など、地域の課題を解決するために、試行事業として、伊丹、 笹原両小学校区において、地域自治組の設立及び地域ビジョンの策定に取り組んできた。
2年目となる平成29年度は、さらに、地域ビジョンに基づき、地域の実情に応じて自治が展開できるよう地域総括交付金制度の充実を図り、地域コミュニティの基盤強化を図る！

まず、地域総括交付金について、ご報告致します。
地域総括交付金を平成28年度より伊丹小学校、 笹原小学校の2校をモデル地域として試行していましたが、平成29年度より、「市民が主体となったまちづくりの実現」のために、一歩進んで従来のヒモ付き補助金ではなく、市民自ら地域課題を解決できる交付金化を行うことになりました。

事業の概要

コミュニティ活動補助(生活安全)	80,000円	★事務局の強化(扱い手の確保)210,000円…④ @700円×5h×5日×12月=210,000円
コミュニティ活動補助(文化)	300,000円	★広報業務の加算 207,000円…⑤ 例)自治会員以外への情報発信(追加分)配送委託 @5円×9,000世帯×2= 90,000円
コミュニティ活動補助(子ども施策)	50,000円	例)広報取材に要する経費(有償ボランティア) @500円/回×10回×5人=25,000円
防犯グッズ助成	35,000円	例)印刷経費 年2回発行 80,000円
★465千円に自治会加入率を考慮して割増し 603,000円…①		例)SNSやHPによる情報発信(有償ボランティア) @500円/1回×12月×2回/月=12,000円
地区社会福祉協議会事業補助	300,000円	★基礎強化 100,000円…⑥ 今後、課題解決や自主的な活動の促進するよう費用 100,000円
ふれ愛バス事業補助	130,000円	
福祉ネット会議補助	50,000円	
★市社会福祉協議会により交付している 補助金の交付金化	480,000円…②	
消耗品費	100,000円	
★消耗品	100,000円…③	

交付額 1,700千円(①～⑥)×2校区=3,400千円

病児病後児保育委託料

病児保育の定員を平成29年度は2名定員から4名定員へと増加。しかし、現行実施の伊丹病院での利用状況が想定よりも伸びず。立地面での違いと分析し、今回増加2名分駅前での開設を医師会も含めて協議。

子育てアプリ

ダウンロード数の推移は目標値よりも少ない。原因はスマートフォンの所持率見積もりの差異と分析。一方、アクセス数は上位。

父親参加型の育児参加事業

実施3年目なのに、予算規模が減額されている理由について質される。

民間ボランティア団体との協働で進めている事業。
打ち合わせなどの費用分が3年目となることで削減。

それによって、今までの(生活安全、文化、子ども施策、防犯グッズ助成などの)コミュニティ活動等補助金と社会福祉協議会からの補助金、ふれ愛バス事業、福祉ネット会議補助と事務局費等を1校当たり170万円交付することになりました。今後、順次、他の15校区に広げていく予定となっております。

次に、子育て施策について、ご報告致します。

病児病後児保育についてですが、病児保育の定員を平成29年度は2名定員から4名定員へと増加しようとしているものの、現行実施の伊丹病院での利用状況が想定よりも伸びておらず、立地面での違いがあるのではないかと分析しており、今回増加を目指している2名分については駅前に開設できないかどうかを伊丹市医師会も含めて協議しています。そして、平成29年4月に間に合うかというところで調整をしています。一方で、「病院と併設して実施していくことが安心できる」との意見も協議の中で出てきており、駅前については、大きな病院や小児科病院が無いために、どのようなバックアップ体制をとっていくのかという検討が重ねられています。

子育て応援無料アプリ「いたみすくすく」についてですが、スマートフォンの普及率が増えている中で、ダウンロード数の推移は目標値よりも少なくなっています。その乖離の原因はスマートフォンの所持率の見積もりの差異であると考えています。ただ、アクセス数はかなり上位であり、アプリの有用性は高いものがあると認識しています。これらの答弁から定期健診時だけでなく、予防接種の際にも広報できるようアプリの宣伝について要望しました。

父親参加型の育児参加事業についてですが、実施3年目となるのに、予算規模が減額されている理由について質疑があり、次のような答弁がありました。民間ボランティア団体との協働で進めている事業であり、今まででは打ち合わせなどに使っていた費用も予算計上していましたが、3年目となることで運営もスムーズになることから、費用が削減になったものです。そして、利用者の内訳については、継続して参加している方も新規で参加している方も半々の状況ということでした。今後の対策として、開催場所は、ゆうかりセンターでの実施は継続するものの、北センターでの実施については、からホールに変更するように考えております。

全国的な問題 「保育所の待機児童」・伊丹市の場合

1、保育所入所の需要が高い駅前や中心市街地を中心に、国の有利な財源を活用して、ここ数年、積極的に民間保育所誘致を進めた。

2、平成29年度予算でも「保育所整備事業」として、新設小規模保育園開設の改修費、新設保育園(80名定員)施設整備費で2億320万円計上。

[財源内訳]
国補助金(補助率2/3)1億8062万円、起債1800万円、一般財源457万円。

4月1日時点での待機児童「ゼロ」を達成!
今後は、年度途中の待機児童ゼロをめざし、引き続き保育定員拡大を進める



保育所についてですが、伊丹市は、全国的に問題になっております待機児童について、「伊丹市子ども・子育て支援計画」に基づき、保育所入所需要が高い駅前や中心市街地を中心に、国の有利な財源を活用して、民間保育所の誘致を積極的に進めてきました。

平成29年度予算でも保育所整備事業として、20名程度の新設保育園開設へ向けた改修費、及び80名程度の新設保育園施設整備費として2億320万円を計上しています。財源内訳は国からの補助金が補助率2/3で1億8062万円、起債で1800万円、一般財源から457万円となっております。

これらの取り組みの結果、今年4月1日時点で待機児童「ゼロ」を達成しました。

今後は、年度途中の待機児童ゼロをめざして、待機児童の分布及び保護者ニーズ等を踏まえ、引き続き民間活力による保育定員拡大を進めていきます。

放課後児童くらぶが大変だ!

課題① 部屋(スペース)が足りない。

専用棟のある「児童くらぶ」以外は、学校の空き教室を「児童くらぶ専用室」へ改修工事して使用しているが、利用人数の増加ペースに追いついていない。

今年度、5つの学校で改修工事をする予算約2千万円を計上。

[財源内訳]

国と県から補助金576万円、起債810万円、一般財源100万円。

課題② 児童くらぶ指導員が足りない。

応募資格の緩和、長期休暇は大学生を募集して「しのいでいる」のが実態。

指導員の待遇改善も含め、考えていかなければならぬ課題。

一方、指導員不足は、なかなか難しい問題です。市は指導員の応募資格を緩和したり、夏休みなど長期休暇期間は教育分野を志す大学生を募集したりしながら、なんとか「しのいでいる」のが実態です。今年度から指導員の通年募集も始めました。指導員さんの待遇改善も含めて考えていかなければならぬ重要な課題です。

今後、子どもの数は減少していくと言われていますが、保育所や児童くらぶへ通う子どもの割合は、逆に増えていくと考えられます。議会としても、しっかりと取り組んでいきたいと考えております。

放課後児童くらぶについてですが、保育所の子どもが小学生になったら、大半の子どもが放課後児童くらぶへの入所を希望します。また、児童くらぶの対象学年が従来は小学3年生まででしたが、今年度から6年生まで拡充されたことや、児童くらぶについては基本的に「待機を出さない」という市の方針もあり、入所希望者は増加の一途です。そのため、問題点も出てきました。部屋(スペース)が足りない。くらぶ指導員が足りない。

まずスペースの件ですが、伊丹市の場合、一部専用棟のある学校以外は、学校内の空き教室を改修工事して「くらぶ専用室」にして使用しています。この専用室化工事も断続的に続けてきました。

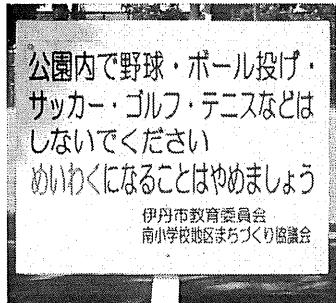
平成29年度予算でも「児童くらぶ施設整備事業」とし

て、5つのくらぶで改修工事をする予算約2千万円を計上しています。内訳は国・県から1/3ずつ出る補助金を活用し、残りを起債810万円、一般財源から100万円となっています。

ボール遊びができる公園が無い！？

うるさい・危険など苦情の多い公園を「ボール遊び禁止」にしてきた結果、近所にある公園の多くがボール遊びが出来ない状況に。

市民、管理して頂いている地域の方々、行政、議会が一体になって知恵を絞り、時間帯を決めるなり、高いフェンスを設置するなど、子どもたちがボール遊びできる環境整備を、という議論が交わされた。



ボール遊びができる公園についてですが、市内すべての公園が、野球やサッカーなど「ボール遊び禁止」ではなく、苦情の多い公園に「ボール遊び禁止」看板を立ててきました。その結果、多くの公園は「ボール遊び禁止」になっているのが現状です。

例えば、比較的広い公園においては、時間帯を決めるなり、高いフェンスを設置するなど、市民の皆さん、管理していただいている地域の方々、行政、議会が一体になって知恵を絞り、子どもたちが気軽に、そして自由にボール遊びできる環境を一緒に作っていきたいと考えています。

鴻池住宅について



次に、鴻池住宅について、ご報告致します。

土木費の中の住宅費では、今年度新たに予算が取られている県の住宅供給公社空き家等補填金1,185万3千円について質疑がありました。鴻池公社住宅について少し説明が必要ですので、お話しします。伊丹市立スポーツセンターの西側に建つ住宅で、全部で430戸ありますが、そのうち1、3、5団地の130戸は伊丹市が管理しており、残りは県が管理しています。昭和45年頃高まる住宅ニーズに対応するために公営住宅の建設が必要だったのですが、当時伊丹市にはお金が無かつたために、県の住宅供給公社に約2億円を貸し付け、残りを国の住宅金融公庫から借り入れて建てたのがこの4棟(第5団地が2棟あり)になります。

お金の出入りとしては、市は県に130戸全戸数分と駐車場91台分全ての賃料を支払い、管理料、修繕費、先ほどの2億円に対する利子2%の合わせた額を県から貰っています。昨年までの会計処理は、それぞれの中身を予算、決算書上で明らかにすることなく、県からもらったお金から空き家、空き駐車場の費用を引いた額を県からの住宅管理委託料として計上していたために、昨年から会計処理が不適切だという質疑が続けられてきました。今年度は、利子収入、管理委託費と分けて歳入に、空き家の家賃は空き家等補てん金として支出に計上するという会計に改善されました。

これまでの表記の仕方

例 H28年度

歳入	
県受託事業収入	
県住宅供給公社住宅管理受託収入	29,731千円
歳出	

表記なし

平成29年度からの表記の仕方

歳入	
県受託事業収入	
県住宅供給公社住宅管理受託収入	34,990千円
土木費賞付金元利収入	
県住宅供給公社賃貸住宅建設資金貸付	5,024千円
歳出	

土木費・住宅費・市営住宅等維持管理費

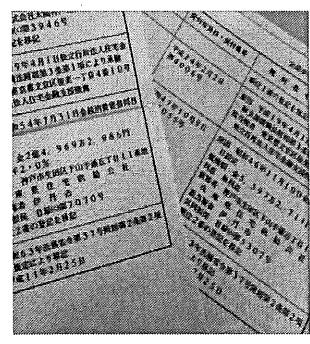
県住宅供給公社住宅空き家等補てん金 11,853千円

内訳 空き住宅 17戸分 7,844千円

家賃滞納分 全体の3% 1,580千円

空き賃貸駐車場 27台分 2,268千円

賃貸駐車場代滞納分 3% 161千円





この空き家等補てん金の対象は、20戸の空き家、27台分の空き駐車場と約3%の滞納家賃分の合計になります。そこで、新たに出た質問は、県管理の空き住宅が300戸の内9戸にとどまっているのに対して、県の住宅よりも家賃の低い伊丹市管理分の空き住宅が20戸にものぼるのか、ということでした。担当者の説明では、県管理の住宅が屋上防水や外壁塗装工事を市よりも早く行ったために、老朽化が目立ち同じ敷地であれば、県の方に入居希望者が偏るという答弁でした。

市管理の住宅は、昨年度屋上防水と外壁塗装を行っているので、新たな借り手がつく可能性は高いかもしれません。ただ、伊丹市の住宅の入居希望者募集について、担当者は市のホームページでお知らせしている、

とはいものの、目立つようにはなっていませんし、県のように民間の不動産賃貸業者にも情報提供しておりません。委員からは、入居者をふやせば、空き家等補てん金の1185万3千円は減らすことができるので、一層の取り組みを求める意見が出ました。また、空き駐車場への対応策については、他の市営住宅の駐車場も空きが目立つので、それも含めて時間貸し駐車場として利用できないか、検討しているという答弁がありました。

いずれにしても、この鴻池公社住宅は、住宅金融公庫の返済が終わると、2億円の借金の代わりとして伊丹市に代物弁済され、伊丹市所有の住宅となります。市営住宅の建替え問題と合わせてどうしていくのか、今後の市の対応については注視していく必要があります。

伊丹市学校教育審議会 「今後の幼児教育のあり方について答申書 <概要版(平成26年6月16日)>から抜粋
<p>I. 公立幼稚園の適正規模・適正配置について (1) 各園において4歳児、5歳児ともに複数の学級があることが望ましい (2) 1クラスの人数については、20人以上が望ましい (3) 現時点では神津こども園を除く公立幼稚園16園を10園程度に統合し 適正規模(複数学級園)に整備していくことが望ましい</p> <p>II. 公立幼稚園の教育・保育のあり方について (1) 預かり保育を実施することが望ましい (2) 現時点では3歳児保育を実施することは難しい</p> <p>III. 統廃合に際して配慮すべき事項について (1) 各ブロックの公私立幼稚園、保育所、認定こども園のバランスを配慮することが望ましい (2) 通園距離、通園方法を配慮することが望ましい</p>

次に、公立幼稚園のあり方について、ご報告致します。

2014年(平成26年)6月伊丹市学校教育審議会は、今後の公立幼稚園のあり方について、「現時点では神津こども園を除く公立幼稚園16園を10園程度に統合し、適正規模に整備していくことが望ましい」との方向性を示す答申を行いました。

市教育委員会は答申内容にそって当初、2015年(平成27年)度中に基本計画及び実施計画を策定する予定でしたが、公立幼稚園の保護者から「公立幼稚園は小学校との連携が充実している」「公立幼稚園のよさは地域とのつながりである」との意見も多く、慎重に協議・対応せざるをえませんでした。

「幼児教育のあり方を考える市民講座」
(市教育委員会のHPに掲載されている内容から抜粋)

■参加者からの主なご意見

【公立幼稚園の今について～いいところ～(良さ)】

- ・幼小の交流が多い。
- ・みんなと一緒に小学校に上がる。子どもだけでなく親も安心できる

【公立幼稚園の今について～ここはどうかな？～(課題)】

- ・子どもの人数、クラスの数が少ない
- ・子どもが少なすぎて行事が成り立っていない

【公立幼稚園の今について～こんなふうになるといいな～(今後の方向)】

- ・3年保育
- ・3年保育が(週3)難しいならプレ保育を増やす方がよい
- ・預かり保育があつてほしい

その後市教育委員会は、「幼児教育の在り方を考える市民講座」を2015年11月から2月まで全9回、2016年(平成28年)度は5月から9月まで全9回の計18回開催しました。あわせて未就園児サークル等対象のアンケート調査を実施し、就園前の子どもがいる保護者の意見も聞いてきたとしています。「市民講座」で市民からは、今後の公立幼稚園の方向性について、保育時間の見直しや預かり保育、3年保育の実施、3歳児を対象にしたプレ保育の実施など保護者の就労状況やニーズの変化を示す意見が多く出されたとしています。一方仮に統廃合となつた場合、通園方法の心配、閉鎖する園や拠点となる園をどのように選ぶのか、公立幼稚園の特色である小学校との連携はどうなるのかとの意見も多数寄せられたと議会に報告されました。

伊丹市内幼児の幼稚園・保育所利用状況
(市教育委員会の資料から作成)

年 度	平 5年	平10年	平15年	平20年	平25年	平29年
3歳児	基礎幼児数 1,982	2,225	2,184	1,884	2,012	1,816
	公立幼稚園	—	—	—	20	22
	私立幼稚園	399	516	498	599	701
	保育所	259	306	413	400	512
	在宅・他	1,324	1,403	1,273	855	797
年 度	平5年	平10年	平15年	平20年	平25年	平29年
4歳児	基礎幼児数 1,937	2,014	2,148	1,981	1,988	1,915
	公立幼稚園	654	700	741	674	614
	私立幼稚園	929	919	919	783	801
	保育所	228	278	358	411	411
	在宅・他	126	117	130	113	162

そうした経過の中、2017年(平成29年)度の公立幼稚園への応募状況は、定員720名に対して5歳児447人、4歳児にいたっては358人=定員の半分まで激減しています。こうした状況を踏まえて今年3月議会では、「明らかに、以前から3年保育と預かり保育を実施している私立幼稚園に児童がシフトしている」と指摘がなされました。しかし同時に市内3歳児の状況は、私立幼稚園へ724人、保育所512人、在宅558人であり、市外の幼稚園に行っている数は250人から280人もいることも明らかにされました。数字上から考えると、公立幼稚園で早急に3年保育と預かり保育を実施すれば、園児が相当確保できる可能性についても言及がありました。

以上、一般会計の予算委員会において審査しました事業の中から、数点を取り上げ、ご報告させていただきました。

今後も議会として、これらの事業をはじめ、各種施策が予定どおり実施されているか、進捗状況をしっかりとチェックしてまいります。

3. 特別会計並びに企業会計予算審議報告

伊丹市議会 議会報告会

平成29年度 特別会計

並びに企業会計予算審議

2017/05/20.21
議会報告会

特別会計

【予算総額】

約 407 億円

・国民健康保険事業	250億円	・農業共済事業	1300万円
・後期高齢者医療事業	25億7千万円	・鴻池財産区	1100万円
・介護保険事業	130億4千万円	・荒牧財産区	1800万円
・中小企業労働福祉共済事業	3100万円	・新田中野財産区	1000万円

特別会計とは

特定の事業を行なう場合、特定の歳入を持って特定の歳出に充て一般の歳入歳出と区分して経理する必要がある場合において、条例でこれを設置することができる。(地方自治法第209条第2項)

8会計

企業会計

【予算総額】

約 437 億円

・病院事業	132億8千万円	・下水道事業	84億4千万円
・水道事業	66億6千万円	・交通事業	26億4千万円
・工業用水道事業	4億2千万円	・モーターボート競争事業	122億8千万円

(公営)企業会計とは

地方公共団体が経営する企業を公営企業と言い、地方財政法第6条により、公営企業の経理は特別会計を設けて行うこととなっており、この特別会計を公営企業会計と言います。

特別会計は「特定の歳入を持って特定の歳出に充て、特定の事業を行なう場合、設置することができる」(地方自治法第209条第2項)もので、国民健康保険事業や介護保険事業など8つの会計があります。

H29年度の特別会計の予算総額は約407億円となっています。

次に、企業会計についてですが、地方公共団体が経営する企業を公営企業と言います。

公営企業の経理は特別会計を設けて行うこととなっており(地方財政法第6条)、病院、水道、交通など6つの会計があります。

H29年度の企業会計の予算総額は約437億円となっています。

今回は時間の関係上、特別会計からは、介護保険事業にしほって、企業会計からは、病院事業と水道事業にしほって、ご報告致します。

6会計

介護保険事業特別会計

【当初予算額】 13,041,449千円

【予算審議のポイント】

▶ 介護予防・日常生活支援総合事業（H29年度～）

- ・生活援助のサービス低下の可能性
- ・チェックリストによる介護認定の問題の有無
- ・ケアマネジメントC追加の理由

【予算審議の結果】 原案可決（賛23 反4）

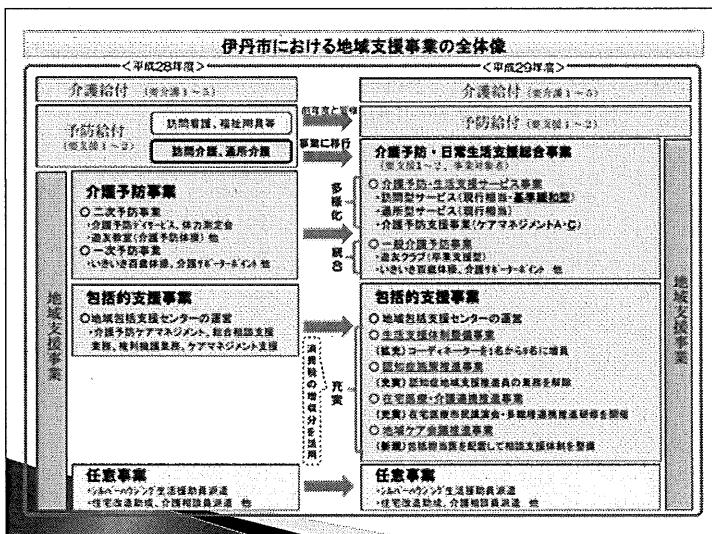
それでは、最初に介護保険事業特別会計の審議の主なポイントをお伝えします。

【当初予算額】13,041,449千円

今回は、平成29年度から始まる介護予防・日常生活支援総合事業（以下「新総合事業」という）に対する質疑が中心となりました。

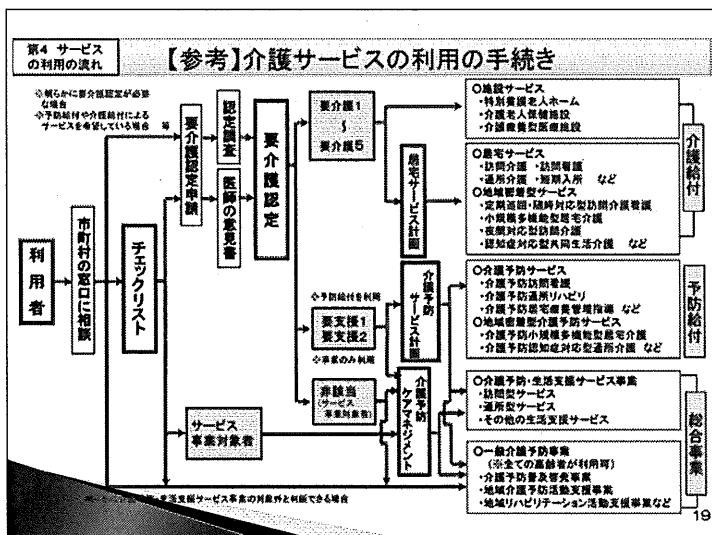
【予算審議の結果】

原案可決（本会議では賛成23、反対4）



今まで要支援1・2の認定者は、予防給付としてホームヘルパーによる訪問介護と通所介護サービスを受けていましたが、「新総合事業」に移行することで、訪問型サービスは、「現行相当」（今迄通りのサービス）とともに、一定の研修を受けた無資格者による「基準緩和型」（生活援助＝家事援助等の生活支援）サービスを受けることになります。通所型サービスは、「現行相当」のみになります。

介護予防支援事業にケアマネジメントC（地域のサロンなどのケアマネジメント）が追加されました。



次に、新規で介護サービスを希望する人は、「要介護認定」を受けることになりますが、現在要支援1・2の人は、本人の意向を参考にしてケアマネージャーの判断で、主治医の意見書なしの「チェックリスト」によって「新総合事業」のサービスに移行します。

「新総合事業」のサービスを行う予定の事業所は、50を超える事業所のうち、19事業所（小規模は3～4事業所）となります。

介護保険事業特別会計 審議内容 p i c k

up!

Q.

無資格者による生活援助は要支援者にとって不利益とならないか？

要支援1・2の更新を「基本チェックリスト」のみで行うことで問題は生じないのか？

介護予防支援事業に「ケアマネジメントC」が追加された理由は何か？

A.

基本的に10時間の研修を行なうことになっており、家事援助等の生活支援に限られているので、不利益は生じない。

要支援者とケアマネージャーが状況把握や家族と相談する中で判断するので問題は生じない。

施設内での完結ではなく地域の中で安心して過ごせる「地域包括ケア」をすすめたい。

Q 今まで資格のあるホームヘルパーが身体介護・生活援助サービスを提供していたが、無資格者による生活援助のみに変わることで、要支援者にとって不利益が生じることはないか。

A 基本的に10時間の研修を行なうことになっており、サービス内容が家事援助等の生活支援に限られているので、従来のヘルパーの資格を持たなくても不利益は生じないと考えている。要支援者から相談があった場合にも、研修の中で状況を掌握できるようにしており、掌握した内容をケアマネージャーや事業所に伝えて対応していく。

Q 今まで要支援1・2の認定を受けていた人が、介護再認定を受けずに25項目の「基本チェックリスト」のみで更新することで問題は生じないのか。介護再認定を「する」「しない」の判断は適切に行われるか。

A 要支援者とケアマネージャーとの関係で、本人の状況把握や本人・家族と相談する中で、「新総合事業」の利用サービスの種類、変更申請が必要か否かなどを判断し、適切なケアマネジメントを行っていくことで問題は生じないと考える。

Q 介護予防支援事業に「ケアマネジメントC」が追加された理由は何か。

A 住民参加型のサービス(地域でのサロンなど)を利用する際、今までケアプランに位置付けられても報酬に反映されなかった。今後、認定を受けている人や介護から卒業された方などが地域のサロンなどのサービスにつながれた場合、介護予防「ケアマネジメントC」によって報酬として評価していくこうとするもので、このことによってサロンなどの住民参加型サービスの利用を促進していくこうという趣旨である。

病院事業会計



【当初予算額】 13,282,204千円

【病院のこれまで】

昭和32年 春日丘にて開設

昭和58年 現在の場所に移転

平成22年 「兵庫県がん診療連携拠点病院」の指定、「地域医療支援病院」名称承認獲得、「病院機能評価」の認定

平成28年 近畿・中国・四国支部で「優良病院」の表彰

次に、企業会計のうち病院事業会計について審議の主なポイントをお伝えします。

【当初予算額】13,282,204千円

【市立伊丹病院の概要】

市立伊丹病院の概要ですが、昭和32年に春日丘にて開設され、その後昭和58年に現在の場所に移転し、本年で開設60年目となります。

平成22年に「兵庫県指定がん診療連携拠点病院」の指定、「地域医療支援病院」の名称承認の獲得、「病院機能評価」の認定を受けました。昨年には、全国公立病院連盟から当院が近畿・中国・四国支部の中での「優良病院」として表彰を受けました。

病院事業会計

年間入院患者数　述べ122,900人

年間外来患者数　述べ206,850人

事業収益 120億円 一般会計補助 13億円 の見込み

【予算審議のポイント】

- ・収益向上のための具体策は
- ・不足している駐輪場の整備について
- ・収益赤字の構造的な問題は
- ・看護師の離職防止とキャリアアップについて
- ・地域包括ケアシステムを構築するにあたって

【予算審議の結果】 原案可決（賛27 反0）

平成29年度予算では年間入院患者数はのべ122,900人、平均入院患者数は1日337人、年間外来患者数はのべ206,850人、平均外来患者数は1日848名を見込んでおります。病院の事業収益の予定額は約120億で伊丹市の一般会計から約13億4千万円が補助される予定になっています。

病院事業会計 審議内容 p i c k up! その1

Q.

経常収支比率100%を目指すこと、具体策は？

A.

特徴的な取組みとしてクリニックパスを導入。より質の高い効率的な医療が提供出来る。

駐輪場が不足？対策は？

自転車160台分、バイク30台分を新たに整備する。

医業収益の赤字は構造的にどのような問題があるのか？

基本的に不採算の事業がある。夜の当直のスタッフの人事費や高度医療の提供体制の整備にコストがかかるなど。

Q 経常収支比率100%を目指しているとのことだが、具体的な取り組みは。

A 現在の特徴的な取り組みとして、治療や検査の標準的な経過を説明するため、入院中の予定をスケジュール表のようにまとめた入院診療計画書「クリニックパス」を導入している。これにより質の高い効率的な医療が提供出来、患者と病院とが双方に納得しながら治療を進めている。

Q 利用者から駐輪場の話をよく聞く。自転車の数が多くてあふれているようだが、対策は考えられているのか。

A 自転車160台、バイク30台分をあらたに整備していく予定である。

Q 医業収益の赤字については、構造的にどのような問題があるのか

A 病院では基本的に不採算の事業がある。例えば、救急医療における夜の当直では、医師・看護師・その他のスタッフなどの人員体制は整えるものの、人件費をペイできるほどの患者さんが来られないことが常である。また高度医療を提供出来る体制を整えても、該当する症例の患者さんが少なければ費用が上回ってしまう等々があげられる。今後は医業収益を上げるため、病床の稼働率90%の目標を掲げて経営改善に努める。

病院事業会計 審議内容 pick up! その2

Q.

看護師の定着を図る取り組みと教育体制はどのようにになっているか？

地域包括ケアシステムを構築するにあたり考えているものは？

A.

教育は様々なコースを設けて進めている。ワークライフバランスの取り組みや超過勤務時間の改善等を行なっている。

急性期病院としての役割をしっかりと果たすこと。また、退院のところでお宅につなげていく等々を考えている。

Q 病院のサービス及び看護師の接遇も良いと住民から評価をもらっているが、看護師の定着を図る取り組みと教育体制はどのようにになっているか。

A 教育に関しては、管理職を目指す者、認定看護師、専門看護師、あるいはジェネラリストといったオールマイティな者を目指すコース等、様々な教育コースを設けて進めている。また、ワーク・ライフ・バランスの取り組みや超過勤務時間の改善を含めた勤務環境の見直しを行なう等、働きやすい職場づくりを目指している。

また、地域包括ケアシステムにおける市立伊丹病院が果たすべき役割についても質されましたので紹介致します。

まず、「地域包括ケアシステム」とは、高齢者の尊厳の保持と自立支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられるよう、「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」といったサービスや支援が、日常生活圏の中で一体的・継続的に提供される「地域完結型医療」の仕組みのことです。

今後、高齢化の進展等により、在宅医療の重要性が増していく中、在宅療養生活を支援するために、診療所や病院、関係施設等が役割分担し、病院から在宅ケアに至るまでの切れ目のない包括的なサービスの提供が必要となってきます。

伊丹市でも、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目指して、この地域包括ケアシステムの構築を推進しています。

Q 地域包括ケアシステムを構築するにあたって、介護との連携や相談体制の充実などで考えているものは。

A 地域包括ケアの充実については、急性期病院としてしっかりと役割果たしていく。また、退院のところでお宅につなげていく等々が市立伊丹病院の役割と考えている。実際には退院支援の相談件数は、平成27年度875件、平成28年度の2月末時点では930件ほどと増加している。何年も前から研修会を開催するなどして地域の施設との連携を深め、患者が必要な医療資源もしくは介護資源を投入出来るように努めている。

水道事業会計



【当初予算額】 6,663,871千円

【予算審議のポイント】

- ▶ 伊丹市新水道ビジョン H28～10年間
 - ・新規採用職員に対する技術継承について
 - ・貯水槽水道の管理体制の強化について
 - ・配水管耐震化の今年度の目標について

【予算審議の結果】 原案可決（賛27 反0）

次に、企業会計のうち水道事業会計について審議の主要なポイントをお伝えします。

【当初予算額】6,663,871千円

【予算審議のポイント】

水道事業は、少子高齢化の進展や節水機器の普及等による水需要の低迷、施設の老朽化、東日本大震災を踏まえた施設の強靭化、将来予測される人口減少社会の到来などの環境変化に対応するため、平成28年度から今後10年間の実施目標を掲げ「伊丹市新水道ビジョン」を策定していますが、このビジョンに対する質疑が中心となりました。

水道事業会計 審議内容 p i c k up!

Q.

新規採用職員に対する技術継承は重要。どのような訓練・指導を行なっているか?

直結給水方式への切り替え、適用範囲の拡大について今年度の計画は?

配水管の耐震化の今年度の目標は?

A.

指導係とペアを組み重点的に技術指導を行なっている。

切り替えの推進は指定工事店への周知、HPへの掲載を通じて。適用範囲は今後13~15Fの建物に広げる。

今年度は7kmの更新、全体では30%程度。重要管路は1600mの予定で55.7%程度となる見込み。

Q 新規採用の職員に対し技術継承は重要である。その観点からどのような訓練や指導をされているのか。

A 指導係とペアを組み、重点的に技術指導を行なうようにしている。また、業者対応や住民対応も含めて現場での指導を行なっている。

Q 新水道ビジョンに「貯水槽水道の管理体制強化」という項目がある。直結給水方式への切り替えの推進と直結給水方式の建物改修についての適用範囲の拡大との内容であるが、来年度はどのような計画か。

A 切り替えの推進に関しては指定工事店への周知とホームページに直結給水方式をわかりやすく掲載しPRしている。適用範囲の拡大については、現在ブースターポンプで10F程度まで直結給水が可能であるが、大きな口径のブースターポンプの適用で13~15Fくらいとなる。

Q 配水管の耐震化に関して、千僧浄水場から市内全ての避難所、病院までの重要配水管本管は国からの交付金を活用して工事に着手している。平成29年度の目標は。

A 平成29年度は7kmの更新で、全体的には30%近くになる見込み。重要路線の管路の更新については、1.6kmの更新を行い、55.7%程度となる見込み。(計画:平成26年度 51.8% 平成37年度 71.2%)

報告事項は以上となります。ご清聴頂きまして、ありがとうございました。

ご清聴ありがとうございました。

4. 参加者からの質問と回答 (ラスタホール)

参加者からの質問・意見	議会の回答
<p>都市計画道路(山田-伊丹線)について、9月議会に測量調査費が上程されることが想定されるが、この点に関して伺いたい。</p> <p>市道「山田-伊丹線」は70年前の都市計画で決定されたが、住民は都市計画道路の存在を知らないまま住宅を分譲された。建替えの時期になって初めてその存在を知り、大騒ぎとなっている。</p> <p>泉町自治会では、平成25年から当該道路の都市計画について市と白紙状態から話し合いを続けてきたが、平成27年に突然「重要路線」と言われ、測量調査費について予算計上の話が出てきた。</p> <p>これに関し、市は当事者である泉町自治会への住民説明を行わないままに、範囲を広げてまちづくり協議会で住民説明を行った。まずは、当事者である自治会や地域社会に対して十分な住民説明を行うべきではないか。</p> <p>当該案件が議会に上程された場合、地域へ十分な説明責任が果たされるようお願いしたい。</p>	<p>当該道路は昭和46年に都市計画道路として認定された。</p> <p>今年の9月議会では、塚口-長尾線(南北の道路)の調査費は上程予定であるが、山田-伊丹線(東西の道路)については予定されていない。議会としては、当局より議案として上程されてから議論することになる。</p> <p>議会として、住民の意見を踏まえて取り組んでいく。</p>
<p>予算と実績の差額をどのように処理しているのか？ プラスの場合とマイナスの場合それぞれについて。</p>	<p>マイナス(予算が不足)の場合、補正予算において調整する。</p> <p>プラス(予算が余る)の場合、財政調整基金への積立などを行う。継続的な事業の場合は、繰越明許として次年度に繰り越すこともある。</p>
<p>セクシャルマイノリティに対する配慮(パートナーシップ制度等)について、伊丹市議会においてどのような議論がなされているのか。</p> <p>当事者として、パートナーシップ制度の1日も早い確立を望む。</p>	<p>議会においては、一般質問等により取り上げている。</p> <p>性的マイノリティに対して、まだまだ社会的認知度が不足していることについて、行政や教育機関がどのような役割を果していくべきかについて議論がなされている。</p> <p>これまでには、教育の現場で取り扱うにも教材の不足等により困難な状況にあった。</p> <p>しかし、昨年3月、市民より提出された「性的少數者(セクシャルマイノリティ)の人権を守るために請願書」を議会で採択し、市長や教育長に対策を約束して頂いている。</p> <p>対策の進捗については、議会としてチェックしていくなければならないと考えている。</p> <p>パートナーシップ制度については、宝塚市などで制定されているが、伊丹市ではまだその議論に至っていない。</p>

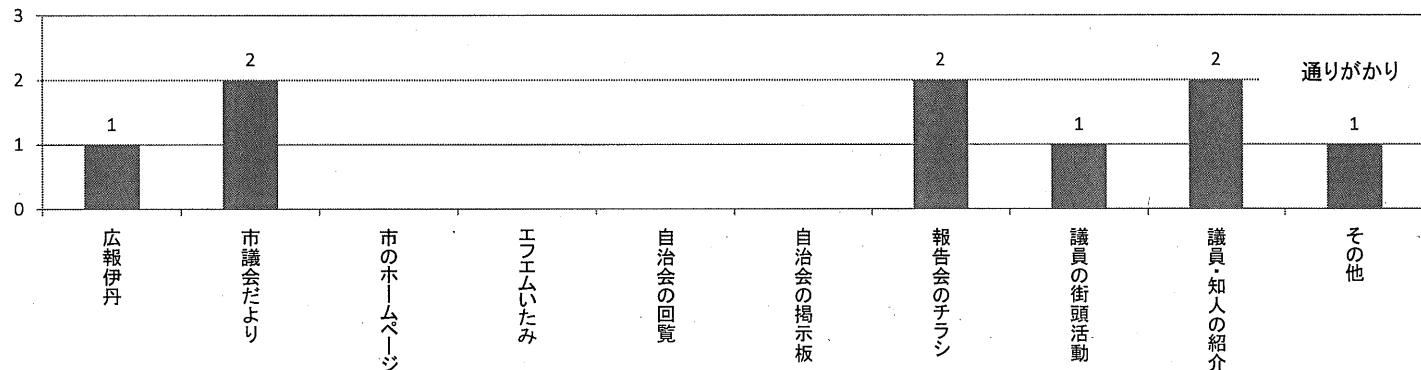
(ことば蔵)

参加者からの質問・意見	議会の回答
<p>難聴者は議会傍聴できるのか。</p> <p>その際、できれば議員の声を直接聞きたいので、磁気ループと要約筆記があればいいのだが。</p>	<p>議会を傍聴するとき、事前に難聴者であることを申し出なければ、対応する。</p> <p>磁気ループと要約筆記の件は参考にさせていただきたい。</p>

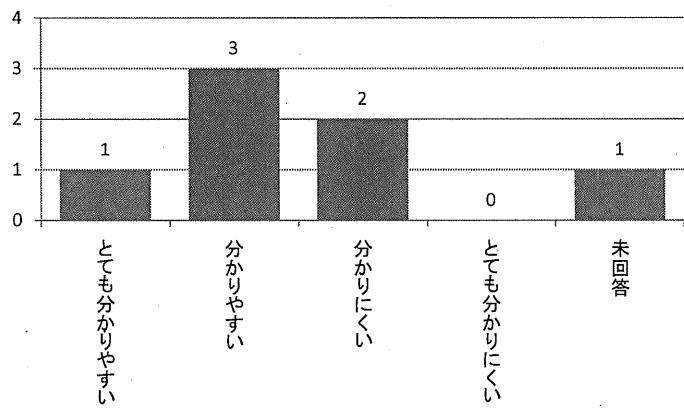
5. アンケート集計結果

(ラスタホール アンケート回答者 7名)

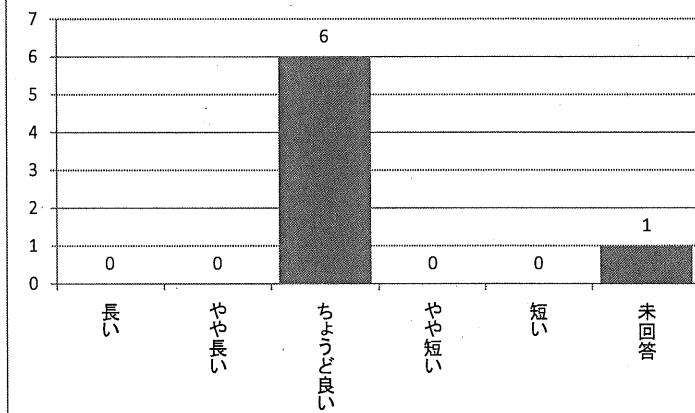
議会報告会を何でお知りになりましたか？(複数回答可)



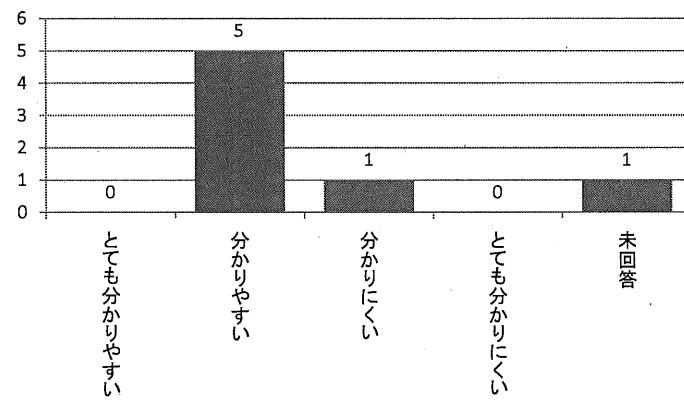
報告会の内容は？



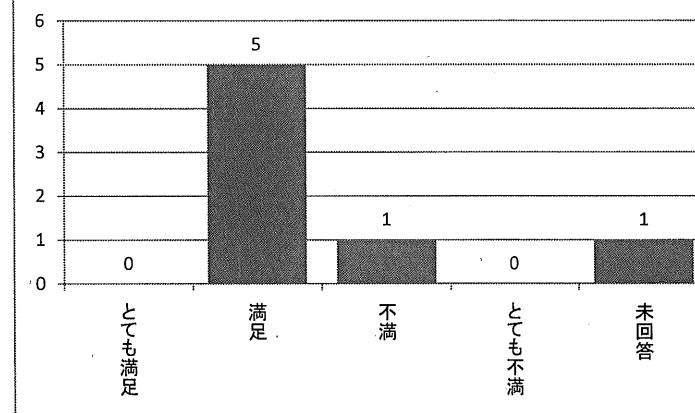
全体の時間は？



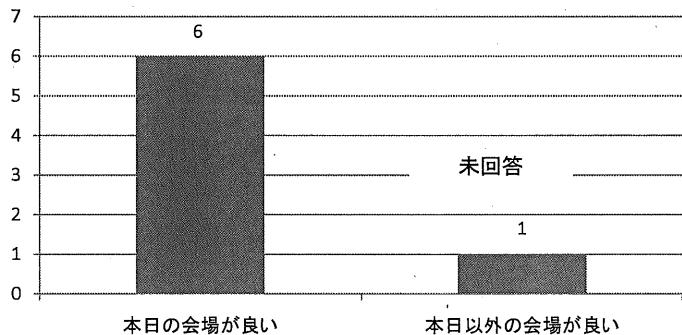
動画はいかがでしたか？



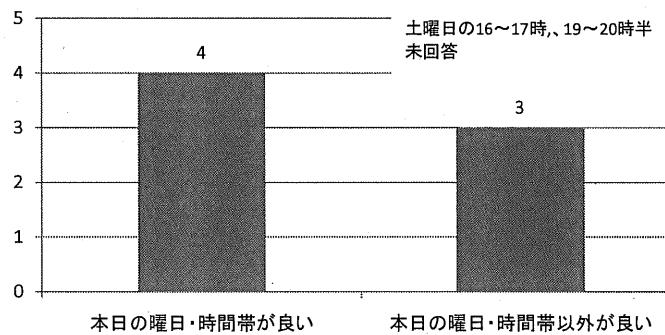
参加されたご感想は？



実施する会場は、どこがよいですか？



実施する曜日・時間帯は、いつがよいですか？



頂いたご意見

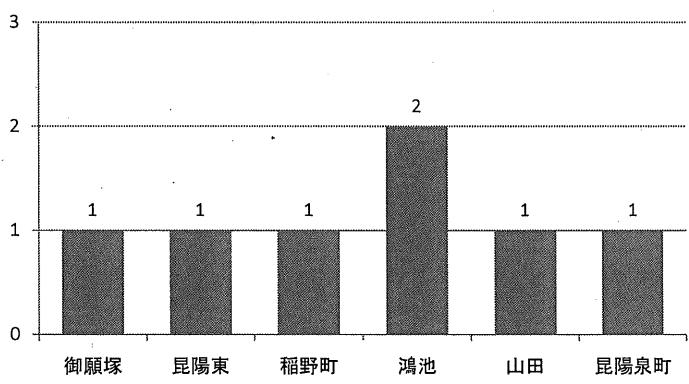
* 市の将来像、一般会計予算、特別会計(特に国民健康保険事業、介護保険事業)については、特に興味を持った内容であり、今後も聞きたい内容である。

* 報告会の会場が近かつたため参加してみようと思った。

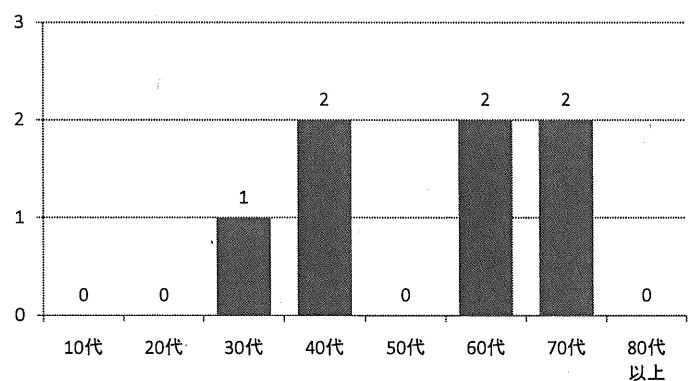
我が市の事とはいえ、なかなか広報でも見えないことが多かったが、今回、泉町の自治会長が質問されたこともあり、もっと各自治会長に呼びかけ、また、少しでも多くの方が参加されるようになれば良いと思った。

* 市議会議員の定年制実施

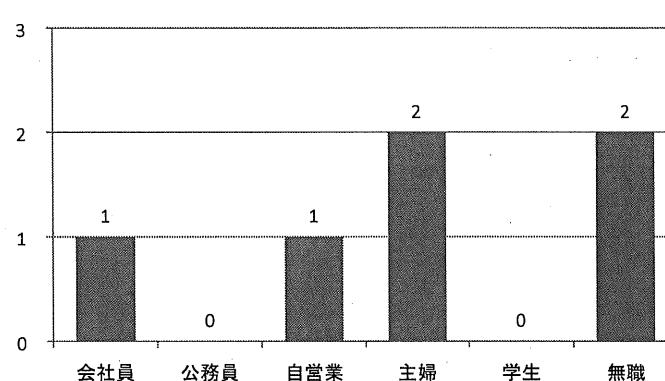
お住まい



年齢層

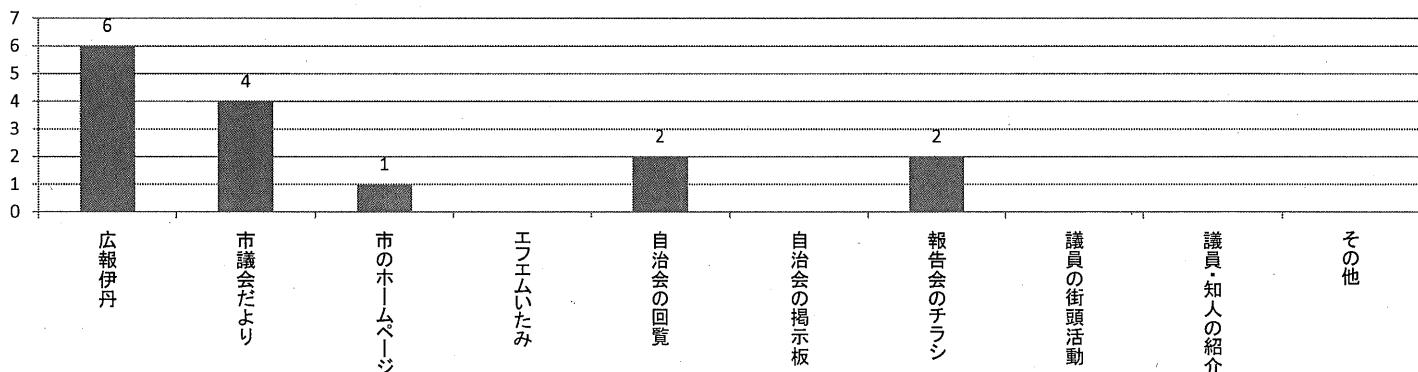


ご職業

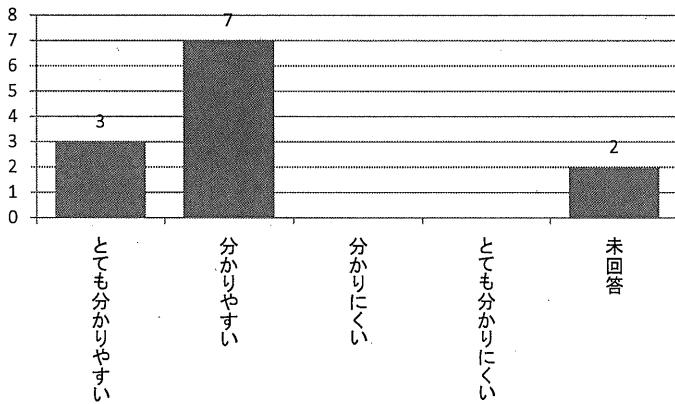


(ことば蔵 アンケート回答者12名)

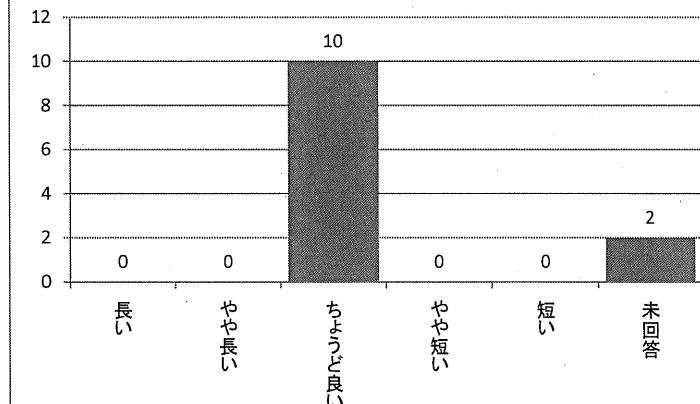
議会報告会を何でお知りになりましたか？(複数回答可)



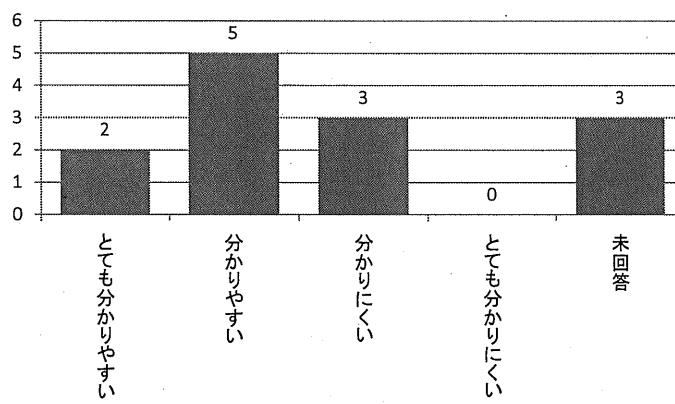
報告会の内容は？



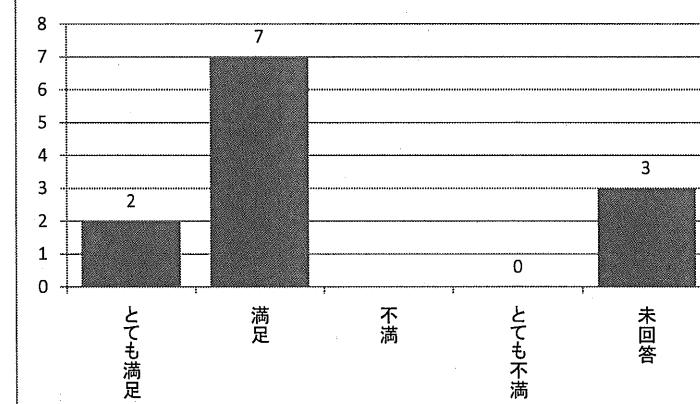
全体の時間は？



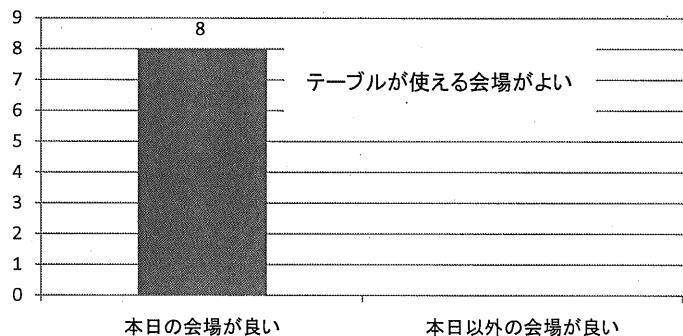
動画はいかがでしたか？(複数回答あり)



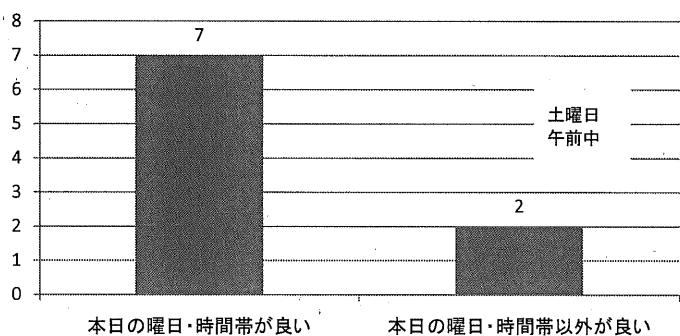
参加されたご感想は？



実施する会場は、どこがよいですか？



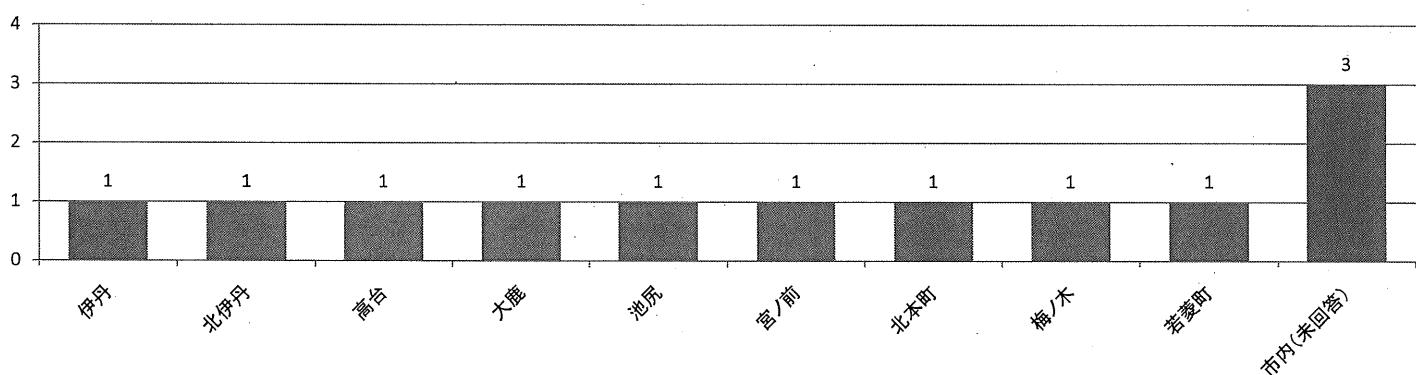
実施する曜日・時間帯は、いつがよいですか？



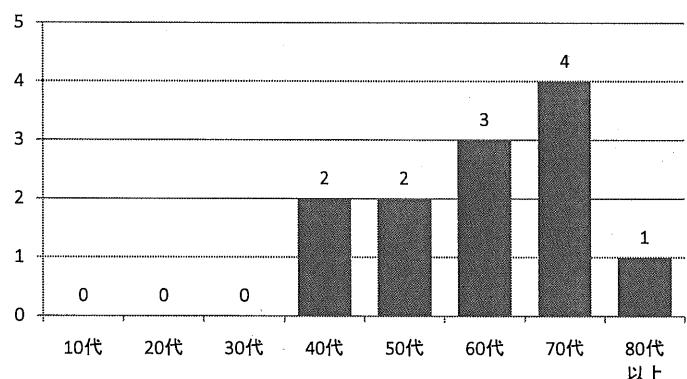
頂いたご意見

- * 働くお母さん達の為に保育所を増やし、早く入所できるようにしてあげてほしい。
- * 審議内容のピックアップを可能であれば、たくさん載せてください。
- * 議員の方々の顔と名前がわからないので、会場では名札をつけたら？
- * 手話通訳、要約筆記がつくときいて、初めて参加した。議員の皆様が熱心に取り組まれている様子がわかりました。参加者の質問が少なくて残念でした。前日の報告会の参加人数など、参加議員さんや、内容は同じでしょうか？
- * 初めてなのでどういう風に進行されるのか一度見てみたかった。
- * 報告会のスケジュール表がないので、時間の配分が不明。
- * 初めての参加であったので、どういうものか知りたかった。報告会に来る時は、少し勉強をしてから来ます。

お住まい



年齢層



ご職業

